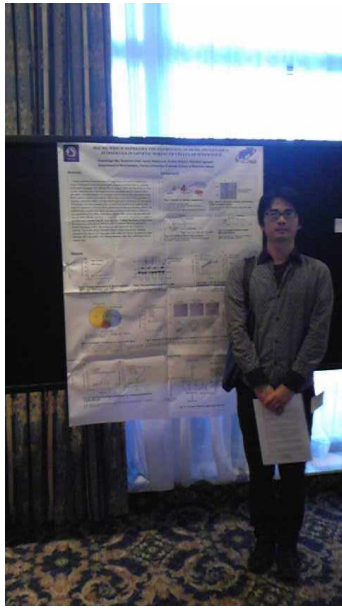


支倉常長フェロー報告書

提出日 平成 21 年 10 月 9 日



申請者	氏名	太田 一成
	所属・職	生物化学分野 博士課程 4 年、
出張期間	平成 21 年 9 月 28 日 ~ 10 月 5 日	
渡航先	アメリカ・マイアミ	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・()	
発表演題名あるいは共同研究課題名	BACH1, WHICH REPRESSES THE EXPRESSION OF HEME OXYGENASE-1, IS INVOLVED IN GENETIC WIRING OF CELLULAR SENESCENCE WITH P53	
得られた成果など	<p>H21 年 9 月 30 日から 10 月 4 日にマイアミで開催された「Heme Oxygenase in Biology and Medicine」にポスター発表するために参加した。同学会はヘム研究の最先端の研究発表を行う国際的な学会であり、知見を深めることができた。</p>	
		<p>転写因子 Bach1 および p53、ヘムオキシゲナーゼ 1 の研究を行い、細胞老化について説明するという研究内容の発表を行った。今後の同研究へのアドバイスを受けたことに加えて、新たに進めている研究についても相談することができ、非常に有意義な学会参加となった。</p> <p>ヘムオキシゲナーゼ 1 はヘムを分解する酵素であり、抗酸化能をはじめとした多くの機能をもつ。転写レベルでヘムオキシゲナーゼを抑制する Bach1 について p53 経路での機能およびネットワークを中心に研究を進めてきたが、ヘム代謝についてもさらに解明すべき点が多いことを再確認した。</p> <p>また、英語での議論を含めたコミュニケーションの経験を積むことができ、今後の海外活動につながる貴重な学会参加であった。アメリカの文化に触れることができたのも大きな財産となった。</p>

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。

